患者ID	相

病名症状

年 月 日

入院病経		検査前(外来~入院支援センター~入院前日)	心臓カテーテル検査当日	検査後1日目(退 院)	退院療養計画書
月			午前 ・ 午後 ( )番目		退院日(予定)月日
目		心臓カテーテル検査についての準備・理解ができる	不安や痛みを表出し安静を守る事ができる	合併症が起きず日常生活の知識を身につけ退院できる	
		≪外来≫ 《入院支援センター》 「入院のしおり」を説明します 入院日、情報の確認をします 薬の確認をします (お薬手帳をご提示下さい)	(冶原後 長のにこりになりより)	薬剤師から服薬指導があります 看護師から退院後の日常生活や再診日、 薬の説明があります	退院後の治療計画      当院当科外来で通院治療を行います。      他院 ( )で通院治療を続けます。
指導・説	朗	その際(ご家族と一緒に)、承諾書にサインをしていただきます *検査当日に医師の 指示により中止となる お薬があります	・ 朝のお薬は少量の水で飲んで下さい *糖尿病薬やインスリンは医師の指示で 止めとなります	精算は退院当日、外来棟1階	□ その他
		心臓カテーテル検査の流れを看護師が説明します  特別な栄養管理の必要性 (有) ・ 無	<心臓カテーテル検査の準備> ~検査前にトイレに行きましょう	⑤お支払(退院精算)窓口です (概算は前日にお知らせします)	退院後の療養上の留意点
		必要時、入院中に栄養士から栄養指導があります	・胸に心電図を貼り、血圧・脈拍測定、点滴を行います。		・規則正しい通院
点 滴射 内	٠.	内服薬やインスリン注射、お薬手帳を持参し 看護師に渡して下さい。	・尿管は不要ですが、必要に応じて入れることができます。 ・貴金属、入れ歯等、身に付けている物をすべて外して下さい。  (穿刺部が足の付け根の場合)  ⇒穿刺部周囲を除毛し、足の甲に印を付けます。 下半身は全て脱ぎ長寝巻をかけます。 ・検査室は1階の血管造影室です。	・医師の指示で、内服薬の調整が行われることもあります。 ・薬剤師から薬の説明があります。	・塩分制限 □ その他
処活	置動		(ベッド・車いす)で行きます。 ・検査中・検査後の安静中に胸部症状がありましたらすぐに知らせて下さい。  《検査後》 ・穿刺部の血が止まるまで、血圧・脈拍を測定します。	・血圧・脈拍・体温測定 ・穿刺部を消毒し絆創膏を貼ります。 翌日にはがして下さい。 	保健医療サービス又は福祉サービス ・特にありません
食	事	* 検査当日は(朝・昼)が禁食です。	【穿刺部位による安静時間】 ・手首・肘の場合:1時間 ・足の付け根の場合:3時間(医師の指示により重りを乗せ 圧迫したり、安静時間も異なります。)		その他
清	潔	入院前日は体をきれいにしましょう ~検査の当日·翌日は入浴・シャワーはできません!	・医師の指示により点滴が続く場合があります。 ・医師から治療結果の説明があります。(御家族も一緒に)	入浴は退院した翌日からできます	

注 ) 状態に応じて予定が変更となる場合があります。

(主治医) 印

旭川赤十字病院 6階みなみ入院フロア

(主治医署名)

※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者看護師 薬剤師

<u>薬剤師</u> 栄養士